

1

直近の事業年度における主要な業務状況

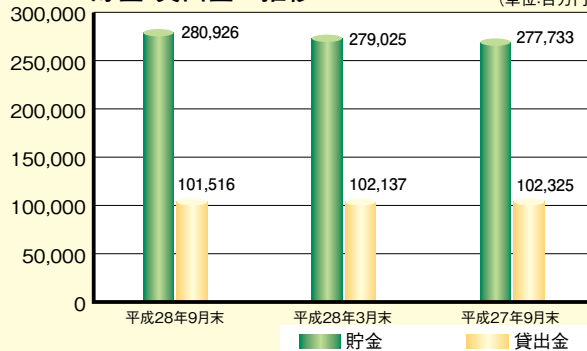
(単位:百万円)

	平成28年 9月末	平成28年 3月末	平成27年 9月末
貯金	280,926	279,025	277,733
貸出金	101,516	102,137	102,325
預金	172,378	178,861	177,631
有価証券	9,419	10,338	10,645
長期共済保有高	893,178	899,055	905,946

注)貯金、貸出金、預金、有価証券の金額は、平均残高です。

貯金・貸出金の推移

(単位:百万円)



2

有価証券時価情報

(単位:百万円)

種類	平成28年9月末			平成28年3月末		
	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益
売買目的	—	—	—	—	—	—
満期保有目的	9,102	9,581	478	9,702	10,214	511
その他	—	—	—	—	—	—
合計	9,102	9,581	478	9,702	10,214	511

注1)平成28年9月末の有価証券の時価は、9月末日における市場価格等に基づく時価としています。

注2)取得価額は、償却原価法適用前および減損処理前のものです。

3

単体自己資本比率の状況

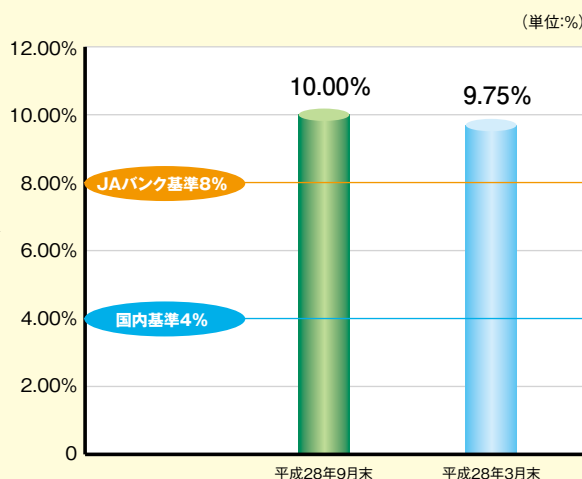
当組合の比率は、いずれの基準も上回り、平成28年9月末では10.00%(推計値)となっています。

総資産に対する自己資本の割合で、企業の経営体力・健全性を示す指標です。国内基準では4%以上を維持することが求められていますが、JAバンクでは破綻を未然に防ぐため、自主ルールとして8%以上を維持する方針を定めています。

単体自己資本比率

平成28年9月末	平成28年3月末
10.00%	9.75%

注)平成28年9月末の単体自己資本比率は、推計値です。平成28年9月末推計の自己資本総額、信用リスク・アセット額および平成28年3月末のオペレーショナル・リスク相当額に基づき算出しています。なお、平成28年9月末推計の自己資本額は、半期利益を次期繰越金に加算し、外部流出予定額を考慮せずに算出しています。



4

金融再生法開示債権の状況

「金融再生法開示債権」とは、金融再生法に基づき、当組合の保有する信用事業にかかる債権(貸出金、未収利息、仮払金等)を債務者の状況に応じて分類したものです。平成28年9月末では、信用事業債権の98.20%が正常債権です。

金融再生法開示債権

(単位:百万円)

債権区分	平成28年9月末	平成28年3月末	増減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	964	1,138	△174
危険債権	731	746	△15
要管理債権	136	140	△4
正常債権	100,130	100,192	△62
合計	101,962	102,219	

注)各債権区分額は、平成28年3月末時点の債権額を基準として、平成28年9月末時点の残高に修正しています。

金融再生法開示債権の構成比(平成28年9月末時点)

